

ぐんま の 農業研究と普及活動

第 17 号

平成 23 年 10 月

発行 群馬県農政部

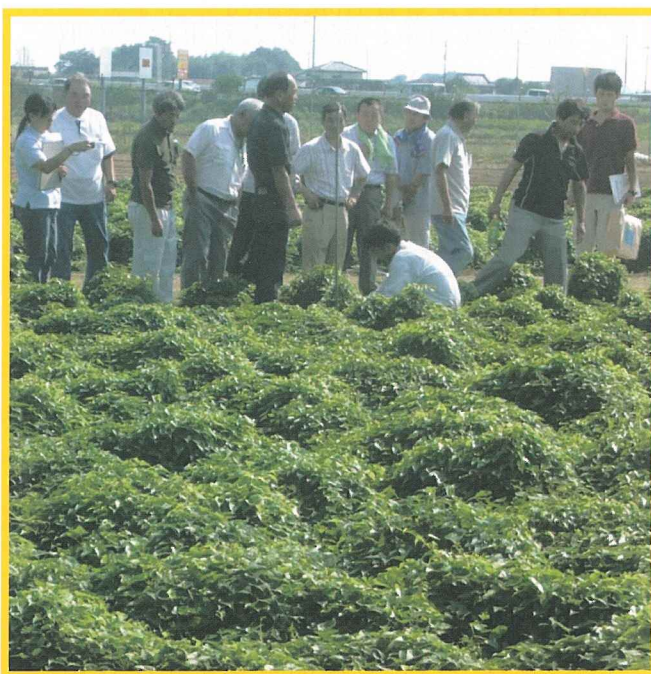
(前橋市大手町一丁目 1 番 1 号)

ヤマトイモ新品種「ぐんまとろりん(仮称)」

— 棒形状の割合が高いヤマトイモを育成しました —



ぐんまとろりん(仮称) (平成22年度産のイモ)



栽培状況の説明会風景 (農業技術センター内)

ヤマトイモは千葉県と作付け面積 1 位を競う、群馬県を代表する特産物です。

県農業技術センターが育成した新品種「ぐんまとろりん(仮称)」の特徴は、調理や加工がしやすく、実需者から要望の多い「棒」形状の割合が高いことです。味は、他系統と比較して甘さを感じる人の割合が多く、食味評価も高いです。

本格的な出荷までには、4~5年かかりますが、産地の協力を得ながら新品種への転換を進めていきます。

目 次

○トピック[新技術等の迅速な現地普及]

小麦新品種「さとのそら」の普及促進……………1

○研究成果等の情報

〔県の試験研究機関で開発した最新の技術情報〕

・冬どりキャベツにおける寒害発生品種間差……………3

・県育成イチゴ品種「やよいひめ」におけるミヤコ

カブリダニによるナミハダニの生物的防除……………4

・水稻奨励(認定)品種「ゆめまつり」に品種特性……………5

・有用物質生産を目的とした遺伝子組換えカイコ

の繭層調整技術……………6

・ニジマスの系統の違いによる釣れ具合の相違……………7

・採卵鶏の産卵後期における定量給餌による

飼料節減技術……………8

・乳牛への飼料用米多給技術の開発……………9

○普及活動の実績

〔各地域における課題解決の取り組み〕

・ネギ栽培の機械化・省力化への推進……………10

・多野藤岡グリーン・ツーリズムの里づくり推進……………11

・農作物を野生獣被害から守るために……………12

・半促成ナスにおける天敵導入への取り組み……………13

・農村女性起業における販路拡大の取り組み……………14

○インフォメーション

・認定農業者向けメールサービス開始……………15

・農産物の放射性物質安全検査について……………15